

平成27年度 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 推 薦 要 領

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会では、毎年、廃棄物等の3Rに取り組み、資源の有効利用、環境への負荷の低減に顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を実施しております。

このたび平成27年度の募集を開始いたしましたので、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている3R活動、他者や地域との連携、他者への3Rの啓発・教育活動など他の模範となる案件を、多数ご推薦くださいますようお願い申し上げます。

なお、自らが3Rを実践する活動だけでなく、3Rを推進するための仕組みづくりや製品の開発・普及などの活動も対象です。

- 推薦機関からの推薦締め切り
平成27年5月18日(月) (必着) **13日(水) 必着**

- 推薦締め切り後のスケジュール
審査結果通知： 平成27年10月上旬を予定
表 彰 式： 平成27年10月27日(火)を予定

- ご提出先及びお問い合わせ先
(提出先及び問い合わせ先)

〒112-0012

東京都文京区大塚2-15-6 ニッセイ音羽ビル4F

建設副産物リサイクル広報推進会議 事務局

(一財) 先端建設技術センター 企画部 新妻 宛

TEL 03-3942-3991 FAX 03-3942-0424

主催 リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

<目 次>

表彰制度の概要、応募方法等	1
推薦一覧 様式	7
推薦書 様式	9
候補者の概要書 様式 1（個人・グループ・学校用）	11
候補者の概要書 様式 2（事業所・地方公共団体等用）	19
<参考>リデュース・リユース・リサイクル（3R）の取組の例について	27

表彰制度の概要、応募方法等

1. 目 的

リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化）（以下「3R」といいます）に率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている者を表彰することによりこれらの活動を奨励し、もって循環型社会の形成推進を図ることを目的としています。

2. 主 催

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

3. 後 援（予定）

財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

4. 募集対象

循環型社会の形成に向け、廃棄物等の 3R に率先して取り組み、資源の有効利用、環境への負荷の低減に継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている「個人・グループ・学校」及び「事業所・地方公共団体等」（以下「候補者」といいます）。なお、自らが 3R を実践する活動だけでなく、3R を推進するための仕組みづくりや製品の開発・普及などの活動も対象です。

※ 推薦にあたっては「審査基準」（P. 6）の評価項目をご考慮ください。

（対象者）

○「個人・グループ・学校」： 個人、自治会、ボランティア、学校 等

○「事業所・地方公共団体等」： 企業、工場、都道府県、市町村 等

学校と企業などの連名の場合、どちらがより主体的に活動を行っているかによって「候補者の概要書」の様式を選んでください。不明な場合は、事務局（表彰推薦受付係）までご連絡ください。

5. 賞の種類（予定）

（1）内閣総理大臣賞

（2）関係省庁大臣賞（各大臣賞の対象分野は以下のとおりです。）

大臣賞の名称	対象分野
財務大臣賞	財務省の所掌業務に関連する 3R 活動
文部科学大臣賞	文部科学省の所掌業務に関連する 3R 活動
厚生労働大臣賞	厚生労働省の所掌業務に関連する 3R 活動（医薬品等関係に限る）
農林水産大臣賞	農林水産省の所掌業務に関連する 3R 活動
経済産業大臣賞	経済産業省の所掌業務に関連する 3R 活動
国土交通大臣賞	国土交通省の所掌業務に関連する 3R 活動
環境大臣賞	環境省の所掌業務に関連する 3R 活動

（3）リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞

6. 募集方法

本表彰では、以下の①～③の推薦機関からの推薦により「4. 募集対象」に定める候補者を募集します。候補者が直接当協議会に自薦応募することはできません。

- ①リデュース・リユース・リサイクル推進協議会の会員団体
- ②地方自治体（都道府県、政令指定都市、中核市、特別区） ※平成 26 年 3 月基準
- ③建設副産物対策地方連絡協議会

7. 応募の方法

(1) 提出書類

推薦機関は、この推薦要領に定める様式により、以下の①推薦一覧、②推薦書（候補者 1 件につき 1 通ずつ作成）、③候補者の概要書（候補者に作成を依頼し、内容を確認）を提出してください。併せて、活動の様子がわかる写真、参考資料（パンフレット等）を添付してください。提出書類の様式、提出部数等は下表をご参照ください。

この推薦要領（Microsoft Word 形式）はリデュース・リユース・リサイクル推進協議会のホームページからダウンロードできますのでご利用ください。（<http://www.3R-suishinkyogikai.jp/commend/suisen>）

提出書類		書類の 作成者	記入様式	提出部数 提出方法
①推薦一覧（推薦案件全体に対して1通作成してください。）		推薦機関	7ページ	■提出部数 ・紙媒体 23部 正：1部 副：2部 ・電子媒体1部 （電子媒体は、記入済の①～③のMicrosoft Word ファイルを押印なしのままCD-R等で提出。）
②推薦書（1件の候補につき1通ずつ作成し、「③候補者の概要書」を添付してください。）			9ページ	
③候補者の概要書	個人・グループ・学校用 【様式1】	候補者	11～17 ページ	■提出方法 ・郵送又は持参
	事業所・地方公共団体等用 【様式2】		19～25 ページ	

<提出にあたって>

- ・「③候補者の概要書」は、活動内容の写真（画像データ）や図表等を添付してください。
- また、活動内容に関する参考資料（パンフレット等）があれば、印刷物 **23 部** 及び電子ファイル 1 部を提出してください。
- ・提出書類はホッチキス留めにせず、クリップで留めてください。
- ・電子媒体の①～③の書類（Microsoft Word ファイル）は、押印なしのままで提出してください。PDF ファイルなどに変換したものや、印刷したものをスキャナーで読み込んだものではなく、記入した Microsoft Word ファイルをそのまま提出してください。候補者一覧データの入力、表彰結果発表冊子の原稿作成に使用します。
- ・書き方が不明な場合、事務局（表彰推薦受付係）までご連絡ください。

(2) 推薦機関からの提出期限
平成27年5月18日(月)(必着)

(提出期限) 広報推進会議会長名での推薦を諮るため、
提出期限を早めにさせて頂いております。

平成27年5月13日(水) 必着

(3) ご提出先

〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 ニッセイ音羽ビル4F
建設副産物リサイクル広報推進会議 事務局
(一財)先端建設技術センター 企画部 新妻 宛

8. 推薦にあたっての注意事項

- ①推薦書(印刷物~~2~~**3部**)は必ず推薦機関の代表者(協議会会員団体の長、都道府県知事、政令指定都市市長、中核市市長、特別区区長、建設副産物対策地方連絡協議会会長)名で作成し、代表者印を押印のうえ提出してください(電子媒体は、押印なしのまま提出してください)。
- ②必ず事前に候補者の承諾を得ておいてください。
- ③推薦機関は、候補者に法令違反や係争・紛争、その他表彰対象者として相応しくない事項が無いかを確認のうえ推薦してください(推薦書のチェック項目をご活用ください)。
なお、チェック項目が全てクリアされている候補者であっても、審査において受賞者として不適当と判断されることがあります。
- ④過去に受賞した候補者を同じ取組内容で繰り返し推薦することはご遠慮ください。過去受賞時とは別の取組であれば推薦可能です。過去に受賞した企業の別の事業所や工場での活動、あるいは過去に受賞した建設会社や共同企業体が行う別の工事等は別の取組と見なします。
- ⑤過去受賞時の延長線上にある取組であっても、その後の拡大・発展が著しく上位賞の候補になると判断した場合は推薦可能です。その場合は、過去受賞時から拡大・発展したポイントについて、候補者の概要書の「過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況」欄に記入してください。
- ⑥同じ取組内容で過去5年間に他の表彰制度にて受賞した場合又は他の表彰制度に推薦されている若しくは応募中の場合、同じく「過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況」欄に記入してください。
- ⑦推薦機関は審査結果等については責任を負わないものとします。

9. 審 査

有識者等からなる「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰審査委員会」を設置し、「審査基準」(P.6)に基づき、応募案件の審査を行います。

10. 結果の通知

推薦機関に審査結果（入賞内定または選外）通知（10月上旬予定）を送付した後、入賞内定者には内定通知（推薦機関へ通知した1週間～10日後）を送付します。

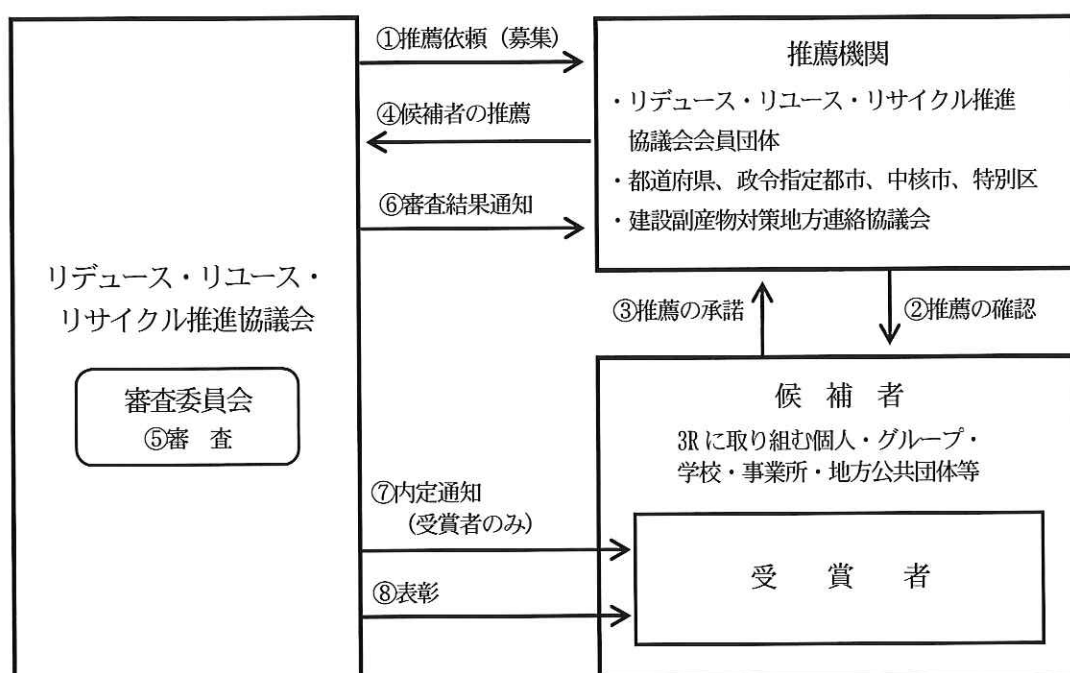
11. 表彰式

平成27年10月27日（火） 東京都内で挙行予定

12. 個人情報の取り扱いについて

推薦書、候補の概要書等に記入された個人情報は、本表彰の実施に関連する用途以外には使用しません。

13. 募集から表彰までの流れ



[募集から表彰までの流れ]

平成 27 年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
審査委員会委員名簿（予定）

（敬称略）

氏名	所属機関
木 村 文 彦	法政大学理工学部機械工学科 教授
大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 理事・環境委員長
角 田 禮 子	主婦連合会 副会長
小 澤 紀美子	東京学芸大学 名誉教授
斎 藤 正 一	日経ＢＰ社 環境経営フォーラム事務局長
細 田 衛 士	慶應義塾大学経済学部 教授
間 部 彰 成	日本商工会議所 産業政策第二部長
上 羅 豪	国 税 庁 長官官房審議官
河 村 潤 子	文部科学省 生涯学習政策局長
飯 田 圭 哉	厚生労働省 大臣官房審議官
櫻 庭 英 悦	農林水産省 食料産業局長
片 瀬 裕 文	経済産業省 産業技術環境局長
瀧 口 敬 二	国土交通省 総合政策局長
鎌 形 浩 史	環 境 省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部長

審査基準

○個人・グループ・学校

評価項目	具体的な評価事項
継続期間	主体の特性に応じて活動の継続性を評価する。
対象品目・量等の実績、活動の効果	活動対象品目の範囲・3R 対象量等の活動実績及び活動により得られた効果（廃棄物の削減効果、省資源・省エネ効果、環境保全効果等）を評価する。
地域性	活動範囲（実施主体の特性や活動内容を勘案しつつ、活動範囲の広さを評価する。） 他主体・他地域との連携（他の 3R 活動主体や他地域との連携について評価する。） 地域密着性（地域の特性や廃棄物問題を踏まえた活動であるかを評価する。）
活動頻度	活動頻度を評価する。
独創性・先鞭性	当該主体で考案された独自の活動か、先進的に取り組んだ活動かを評価する。
波及効果、啓発・教育効果	他者の 3R 活動に与えた効果を評価する。また、機関誌の発行、講演会・研修会の開催等による啓発・教育活動を行っている場合は、その効果を評価する。
その他評価	リデュース・リユース・リサイクルの各分野にわたる活動、上記評価項目や点数配分では評価しきれない優れた項目、内容等があれば、加点する。

○事業所・地方公共団体等

評価項目	具体的な評価事項
継続期間	主体の特性に応じて活動の継続性を評価する。
対象品目・量等の実績、活動の効果	活動対象品目の範囲・3R 対象量等の活動実績及び活動により得られた効果（廃棄物の削減効果、省資源・省エネ効果、環境保全効果等）を評価する。
地域性	活動範囲（実施主体の特性や活動内容を勘案しつつ、活動範囲の広さを評価する。） 他主体・他地域との連携（他の 3R 活動主体や他地域との連携について評価する。） 地域密着性（地域の特性や廃棄物問題を踏まえた活動であるかを評価する。）
独創性・先鞭性	独創性・先鞭性（製品、サービス、技術、社会システム等の開発を含む）を評価する。
波及効果、啓発・教育効果	他者の 3R 活動に与えた効果を評価する。また、機関誌の発行、講演会・研修会の開催等による啓発・教育活動を行っている場合は、その効果を評価する。
その他評価	リデュース・リユース・リサイクルの各分野にわたる活動、上記評価項目や点数配分では評価しきれない優れた項目、内容等があれば、加点する。

(推薦機関で作成)

平成 27 年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
推 薦 一 覧

平成 27 年 月 日

推薦機関名： _____

No ^{*1}	候 補 者 名 (連名による候補の場合は、同じマスに名前を列記してください。)	「候補者の概要書」 の様式 ^{*2}
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

*1 11 件以上の推薦がある場合、一覧を適宜追加し、番号は連番 (11～) にて採番してください。

*2 「様式 1 (個人・グループ・学校)」または「様式 2 (事業所・地方公共団体等)」のいずれかを記入ください。

推薦件数が 1 件の場合も、この一覧をご提出ください。

(推薦機関で作成)

平成 27 年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 推 薦 書

平成 27 年 月 日

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 御中

(推薦機関名)

(代表者役職・氏名)

印

リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の候補として下記の者を推薦します。

記

1. 候補者名 (連名による候補の場合は、名前を列記してください。)

(推薦一覧の No :)

2. 推薦機関の連絡先等

推薦機関名	
住所	(〒 .)
連絡先*	所属部署
	氏名
	電話番号
	FAX番号
	Eメール

*「連絡先」は、この推薦の件に関する連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。

3. 推薦機関における候補の選定方法 (例：担当部署又は審査会設置による選定等)

[]

4. 取組内容の確認方法 (例：現地調査又は候補者、関係者等のヒアリング等)

[]

5. コンプライアンス等に関するチェック

上記候補者の推薦に当たり、以下の事項を確認し、該当する場合は□欄にチェックマーク(✓)を付けてください。

○候補者に法令違反の事実はない・・・・・・・・・・・・□

○係争・紛争等の問題は無い・・・・・・・・・・・・□

○その他受賞者として相応しくない事項はない・・・・・・・・・・・・□

注) これらの項目が全てクリアされている候補者であっても、審査において受賞者として不適当と判断されることがあります。